

-----3月17日-----

※ 今週のアウトルック (3/17~3/21)

先週はリスクオフセンチメントが徐々に支配的となり、先々週の上昇分を帳消しとする形で、週末を迎えた通貨ペアが多かったようです。

今週は、クリミア情勢の選挙後のロシアの対応や、中国経済の動向等、不安定要素が多数あるため、リスクオフが支配的となる可能性が高いように思います。

また、19日にはイエレン新体制になって初となる米連邦公開市場委員会 (FOMC) が予定されているため、結果後の動きに注目したいところです。

先週ドル円は、101円台前半で終了しています。

予想以上に、今後のクリミア情勢や中国経済の今後について、慎重な見方をするトレーダーが多いように思います。

今週もしクリミア選挙の結果を受けて、ロシアが強行的な姿勢に出た場合、突発的な急落の可能性も、考慮したほうが良いように思います。

ドル円の予想レンジは100円から102.5円です。

先週、ユーロドルは上昇トレンドを辛うじて崩してはいないのですが、ユーロ円は円高方向に触れています。

今週もしクリミア情勢が悪い方向に進んだ場合、ユーロドルも含め、ユーロ安が一気に進む可能性もあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは138円から143円です。

ポンド円は、このところのサポートラインとなっていた169円付近を、週末には割って終了しています。

今週もこの傾向が継続する場合、165円付近までの下落も考慮する必要があるように思います。

ポンド円の予想レンジは165円から171円です。

3月後半は、企業決算などの影響から、円高になりやすい時期です。

クリミアや中国の情勢などを踏まえ、急激な円高の可能性も考慮する必要が

あるように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。